

# 算 数 · 数 学

【算数・数学 発達段階:A】

種NO	算数・数学 1	算数・数学 2	算数・数学 3
発行	絵本館	絵本館	絵本館
書名	五味太郎の絵本⑨ いろ	五味太郎の絵本⑩ かたち	ふたりではんぶん
著者	五味 太郎	五味 太郎	五味 太郎
定価 (判・P)	800円 (A 5変形 20P)	800円 (A 5変形 20P)	1,200円 (A 4変形 23P)
内容	絵の具で塗った身近な動物が登場し、それが水に落ちてしまい、さらに塗り直すというストーリーで、色の類別を説明している。	丸い子供、三角の魔女、四角いロボットの主人公が、それぞれ交互に3場面ずつ描かれ、基本図形の理解を図っている。	二人の女の子が、あめ玉等を、「二人で半分」と言いながら、分けていく話を通して、「半分・2等分」について学習できる内容の絵本である。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 見開きページに1種類の動物が描かれ、色の違う動物が4種類登場し、最初の色と塗り直した色を合わせて、8色の内容である。</p> <p>【表記・表現】 絵が大きく、シンプルであり、また適度な空間があるので見やすい。文章が簡潔で、分かりやすい。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 小型でコンパクトにまとめられており、装丁もしっかりしている。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 見開きページに1場面、一つの形のみで描かれていて、短い文章で説明されている。</p> <p>【表記・表現】 絵がシンプルであるが、明暗の配色で形が捉えにくい場面もある。文章にリズムがあり、簡潔である。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 小型でコンパクトにまとめられており、装丁もしっかりしている。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 見開き2ページで、「二人で半分」という問いかけの場面と、半分になったことの確認の場面を繰り返す構成になっている。</p> <p>【表記・表現】 絵が大きく、はっきりとしており、児童・生徒が興味・関心をもちやすい。文章は、全て平仮名・片仮名・アラビア数字で書かれている。児童・生徒に身近なあめ玉等を扱い、児童・生徒の興味を引きやすくしている。文字の大きさは、20ポイントである。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 児童・生徒が持ち運びやすい。装丁が丈夫で、しっかりとしている。</p>
その他	作者独特の分かりやすい絵と鮮やかな色使い、短い文章で表されているので、児童・生徒が興味をもって読める内容であり、色に関心をもつことができる。 この本に出てきた色だけでなく、色を増やしたり、ペーパーサートなどに活用するなどの学習に発展できる。	親しみやすい主人公が登場し、興味を引く内容になっている。 物語などの話を展開するなど、絵本として楽しみながら、形の内容を指導することができる。 しかし、明暗などの配色のため、形を捉えにくい場面などについては、指導の工夫が必要である。	「分ける」、「半分である」ことについて、学習することができる。 「半分」という言葉が、「2等分」という意味だけでなく、「二つに分けた一方」の意味でも使われているため、指導上の配慮が必要である。

【算数・数学 発達段階:A】

種NO	算数・数学 4	算数・数学 5	算数・数学 6
発行	偕成社	金の星社	くもん出版
書名	エリック・カールの絵本 パパ、お月さまとって！	つみき	くもん式のかずカード
著者	エリック・カール	中川 ひろたか、平田 利之	公文 公 監修
定価 (判・P)	1,600円 (A4 38P)	850円 (B 5変形 29P)	1,000円 (B 6 50枚)
内容	お月様を取るという空想の話の中で、長いはしごを用意したり、お月様が大きくなったり小さくなったりすることなどを通して、長さや大きさなどが学習できる。	積木を一つ、二つと順に高く積み上げていくが、天辺に虫が止まってゆらゆら揺れ、「がしゃーん」と崩れる様子が描かれている絵本である。	表面が赤い点（ドット）で数を表し、裏面にそれに対応した数字が書いてあるカードである。 ドットの数を数えて、数字を確認する内容である。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 長さや高さを表現するために、本からはみ出してページが開いたりするなどの仕掛け絵本になっている。</p> <p>【表記・表現】 文字の大きさは14ポイントである。 平仮名のみ表記である。 全ページカラーである。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 表紙の紙質は厚く、コーティングしてあり耐久性がある。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 一つの場面について縦長見開き2ページで構成している。</p> <p>【表記・表現】 文字の大きさは20ポイントである。 全て平仮名で表記している。 4色のカラー刷りで、積み木の一つ一つに気持ちを表す表情が記されている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 表紙は厚紙で、コーティングされており、耐久性がある。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 数を表すカードは、1～50までの50枚である。 表面の赤い点（ドット）は、横に並べて表示され、5以上になると次の行へ移るようになっている。 それが50まで繰り返される。</p> <p>【表記・表現】 赤い点（ドット）と数字のカードというとてもシンプルな内容で、分かりやすい。 点は見やすい大きさで指で指して数えることが容易である。 数字の大きさは太く表記（300ポイントの丸ゴシック体）され、指でなぞって学習することも可能である。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 カードは厚紙でできていて耐久性がある。 大きさはB 6サイズで扱いやすい。</p>
その他	話を楽しみながら、長短、高低、大小の概念を学習できる内容になっている。 仕掛け絵本となっているため、体験的な活動なども通して、長短や大小などを比較する学習への応用ができる。	縦長見開き2ページの構成のため、本を縦にしてページをめくっていく必要がある。	50枚のカードの順序がバラバラになると、欲しい数のカードを探せなくなることや、保存の際に箱が破れやすい点に配慮を要する。 点の数と数字が対応していることに気付くまで繰り返し学習することで、数字の読み方と数字の量を体得できる。 反面、興味を持続させることに工夫が必要である。

【算数・数学 発達段階:A】

種NO	☆ 算数・数学 7	算数・数学 8	算数・数学 9
発行	講談社	こぐま社	同成社
書名	ブルーナのアイディアブック ミッフィーのいまなんじ	おんなじ おんなじ	ゆっくり学ぶ子のための 「さんすう」① (量概念の基礎、 比較、なかま集め)
著者	ディック・ブルーナ 絵	多田 ヒロシ	江口 季好、村上 直樹
定価 (判・P)	850円 (B 5変形 20P)	1,000円 (B5変形 28P)	1,100円 (B 5 72P)
内容	朝7時から夜8時までの、ミッフィーの生活場面と時刻が描かれ、時間の流れと時刻の呼び方を生活と結び付けて学べる内容である。	子豚の「ぶう」と子ウサギの「びよん」は、衣服や持ち物まで同じであるが、最後に違う物が出てくることで、同じと違うを学習できる内容である。	比較や弁別、分類、仲間集めなど、数の概念を獲得する前段階に必要な、物の見方、考え方を形成する内容である。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 見開き2ページで一つの場面が描かれている。左ページには時計のイラストと時刻の読み方、右ページには生活場面のイラストと関連した言葉が描かれている。朝7時から夜8時まで10場面構成している。</p> <p>【表記・表現】 文字の大きさは、40ポイントである。 全ページカラーで、色は黄・橙・青・緑など、はっきりとした色で描かれている。 「7じ」「おはよう」など分かりやすい単語を使用しており、最大で2語文である。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質は非常に厚く、光沢がある。 表紙は厚く、各ページを貼り合わせたとじ方をしているため、開きやすい。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 「くつ」や「ぼうし」など、登場人物の衣服や持ちものについて見開き2ページで、一つの場面を構成している。 二人の登場人物の顔以外は、左右対称に描かれる構成になっている。</p> <p>【表記・表現】 文字の大きさは20ポイントであり、文章は平仮名で、横書きで分かり書きである。 全ページカラーである。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質は光沢がなく、厚い。 表紙は硬く、糸かがりで製本されているため、十分な耐久性がある。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 「量概念の基礎」「比較」「弁別」「仲間集め」「ゲーム」の内容で構成され、分類では、形の弁別も扱うなど、幅広く題材を選んでいる。</p> <p>【表記・表現】 導入部分はカラーで、身近な物が大きく描かれている。 各ページには、「指導の展開」が注釈として載っており、指導上参考になる。 色を塗ったり書き込みができるよう工夫されている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質・装丁とも教科用図書としては十分である。</p>
その他	時刻や言葉について、生活場面を関連付けて学ぶことができる。 右端にインデックスがあり、一日の流れの見通しがもてる。	登場人物が親しみやすい絵で描かれており、児童・生徒の興味・関心を引き出しやすい。 左右対称で描いているため、キャラクターの違いが分かりやすい。	量の概念の基礎、比較、弁別、仲間集め等の内容について、大きな絵と短い文章で丁寧に扱われている。 数の基礎的な概念を獲得させる段階の児童・生徒の指導に適する。

【算数・数学 発達段階:A】

種NO	算数・数学 10	算数・数学 11	算数・数学 12
発行	福音館書店	福音館書店	文化出版局
書名	ブルーナのたのしいべんきょう1 まる、しかく、さんかく	0・1・2 えほん まるくておいしいよ	どうぶつあれあれえほん第4集 かくしたのだから
著者	ディック・ブルーナ 文・絵 松岡 享子 訳	こにし えいこ	五味 太郎
定価 (判・P)	700円 (A5変形 28P)	800円 (B5変形 20P)	600円 (B5変形 23P)
内容	身近な物のはっきりとした絵を通して、丸、三角、四角について学習できる絵本である。	丸の図形を見せながら、何が隠れているのかを想像させる内容の絵本である。 丸い図形について学習することができる。	だまし絵の手法を取り入れ、動物の絵の中から、日常生活でよく使う歯ブラシや靴下などを探す内容である。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 丸い形の物、四角い形の物、三角の形の物が、それぞれ1ページに一つ、続けて7ページずつ提示する構成となっている。</p> <p>【表記・表現】 絵が単純で、橙、黄、青、緑の4色ではっきりと彩色されており、分かりやすい。 文字は、「まる」「しかく」「さんかく」が各2回出てくるのみである。 本文の文字の大きさは、28ポイントである。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。 装丁は、丈夫でしっかりとしている。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 見開き2ページで、丸い物の影を見せ、何が隠れているか問う場面と、その答えを示す部分とを10回繰り返す構成となっている。</p> <p>【表記・表現】 はっきりとした絵や写真を使用し、丸い形が分かりやすい。 文章は、全て平仮名と片仮名の文節分かち書きで書かれている。 文字の大きさは、20ポイントである。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。 装丁は、丈夫でしっかりとしている。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 左ページに事物が提示され、右ページのだまし絵の中から探すという構成である。 だまし絵を構成している動物等は、2から12まで、次第に増えていく。 全体の分量は23ページで適当である。</p> <p>【表記・表現】 左右の絵で1対1対応ができ、次第に難易度が上がるよう工夫されている。 対応する絵が左右反転して描かれていたり、意図的に一部分だけ描かれていたりする所もある。 文字の大きさは32ポイントで、楷書体である。 文章は簡単な文で統一されている。 色彩は図と地のコントラストがあるページがほとんどである。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 表紙は堅く、紙質、装丁はしっかりしている。 大きさはB5変形で扱いやすい。</p>
その他	身近な物の絵の中で、丸、四角、三角が色によって強調され、児童・生徒が目的の形を意識しやすくなっている。	丸い図形について学習できるほか、1～5の数の学習にも使用できる。 食べ物を題材としており、児童・生徒の興味・関心を引きやすい。 題名に「0・1・2 えほん」とあるため、使用に当たっては、配慮が必要である。	隠された物を見つける楽しさを味わいながら、同じものを対応させる学習ができる。 教師がヒントを出す要素も絵の中にたくさん含まれており、対話を楽しみながら学習できる。 類推力が必要である。

【算数・数学 発達段階:A】

種NO	算数・数学 1 3	算数・数学 1 4	算数・数学 1 5
発行	ポプラ社	幼年教育出版社	福音館書店
書名	絵本・いつでもいっしょ2 どうぶつなんびき?	かずあそび 1	おおきい ちいさい
著者	はた こうしろう	松井 公男	元永 定正
定価 (判・P)	1,100円 (B 5変形 37P)	780円 (B 5 38P)	800円 (B 5変型 20P)
内容	野原に次々に現れるキリンや虎など10種類の身近な動物を使い、1から10までの数について説明している内容の絵本である。	数の概念について「ことり」、「どうぶつのなかま」など九つの教材を使い、数の集合、1対1対応、調節など、具体的な活動をする内容の絵本である。	主に二つの相似な形の比較を通して大きい、小さいを学ぶことができる。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 見開き2ページに1場面、片面に数字と説明文、もう一方にその数だけ動物が描かれている。 全体の分量も37ページで適当である。</p> <p>【表記・表現】 場面ごとにページの色が変わり、また、文章と動物の数を対応させるなど視覚的に捉えやすくしている。 文字は、15ポイントで、数字は、ゴシック100ポイントで書かれている。 また、数字や片仮名に平仮名で振り仮名がついている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 表紙は、丈夫で本文の紙質、装丁ともにしっかりしている。 B 5変形で、児童・生徒が持ちやすく扱いやすい大きさである。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 絵が飛び出すなど立体的な工夫を行い、絵や写真を切り抜きながら学習できる構成になっている。 それぞれの目標が教材末に書かれ、指導のねらいとして、巻末に指導者用の解説がある。 全体の分量は38ページと適当である。</p> <p>【表記・表現】 風景や動物は水彩で描かれ、果物は写真を用いるなど、親しみやすくなっている。 切り抜く活動をしながら学習を進めていくため、一度やると繰り返し行うことは出来ない。 文字は、20ポイントで「ことり」「うみ」など九つの教材名を記載している。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 表紙は、丈夫だが、紙質は薄い。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 2ページで一項目の構成である。本の後半では比較するイラストの数を増やしたり、少しずつ小さくしたりする。</p> <p>【表現・表記】 「おおきい」の文字は60ポイント、「ちいさい」の文字は24ポイントである。 イラストは原色であったり、グラデーションであったりして色のめりはりがある。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 表紙の紙は硬い。紙質は十分に厚く十分に耐久性がある。 製本はのりとじである。</p>
その他	数の理解の導入を学習するのに適している。 動物が登場する物語性もあり楽しく、学習できる。 数の基礎的な概念を獲得する段階の児童・生徒には、適当である。	指導者とともに紙を切り抜く活動などをしながら学習できる。 また、切り抜いた絵や写真は教材としても活用できる。	抽象的なイラストで、児童・生徒によっては注目する対象が分かりにくいので配慮が必要である。

【算数・数学 発達段階:B】

種NO	算数・数学 16	算数・数学 17	算数・数学 18
発行	あかね書房	あかね書房	偕成社
書名	村上 勉の学習えほん おかあさんだいすき 1・2・3	あかねえほんシリーズ かたちのえほん まる・さんかく・しかくさん	五味太郎ゲームブックNo. 1 さがしてみよう みつけてみよう
著者	村上 勉	山本 護久、村上 勉	五味 太郎
定価 (判・P)	1,600円 (A4変形 55P)	1,500円 (A4変形 32P)	1,000円 (B5 24P)
内容	1～20までの数について数字と、それに対応した動物の絵で、数の書き方・数え方、簡単な数の合成を理解させる内容である。	丸いコックさん、三角の魔女、四角い王様などが登場し、簡単なストーリーを通して、基本図形の内容を学んでいる。	数量や図形等をヒントに目的の物を探すという11のゲームが紹介された絵本である。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 前半は、1～10までの数字の書き方・数え方を扱い、後半は、10以上の数の数え方や、10までの数の合成を扱っている。</p> <p>【表記・表現】 1～10までの数については、見開き2ページの左に数字の書き方が大きく示され、右にその数の動物の絵が描かれている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質が良く、水をはじく。 上質の厚手の紙を用い、装丁もしっかりしていて、耐久性にも優れている。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 丸、三角、四角の順に8ページずつ扱い、その後三つの図形が4ページにまとめられている。</p> <p>【表記・表現】 各図形が同色で描かれており、太い黒線で縁取られて強調されている。 平仮名の文章には、丸、三角、四角の用語が繰り返し使われている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質が良く、水をはじき、装丁もしっかりしていて、大きさも適当である。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 見開き2ページで一つ、全部で11のゲームにより構成されている。</p> <p>【表記・表現】 絵が大きく、はっきりしており、児童・生徒が興味・関心を持ちやすい。 文章は、全て平仮名とアラビア数字で書かれている。 文字の大きさは、12～30ポイントである。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。 装丁が丈夫で、しっかりとしている。</p>
その他	「数を数える」といった、基礎的な数の概念を育成するのに適した教材である。 数字も見やすく、児童・生徒が興味を示すような絵であり、楽しみながら「数を数える」学習に取り組める。	基本的な図形を基に絵を描くなど、図形概念形成に役立つ。 指導の際には、逆の思考として、ある具体物から図形を抽出させる内容も扱うとよい。 最後の3ページに、図形の絵描き歌が紹介され、応用を図っている。	ヒントから目的の物を探すゲームを通して、図形や数量概念について学習することができる。 ゲームの配列には、内容の関連性や難易度の順序性がなく、図形や数量概念を系統立てて学習することが困難なため、指導上の配慮が必要である。

【算数・数学 発達段階:B】

種NO	算数・数学 19	算数・数学 20	算数・数学 21
発行	偕成社	偕成社	くもん出版
書名	10このちいさなおもちゃのあひる	文字と数の本 1・2・3 どうぶつえんへ	くもんのとけいカード
著者	エリック・カール 作 くどう なおこ 訳	エリック・カール	くもん出版 編集
定価 (判・P)	1,800円 (A4変形 32P)	1,200円 (A4 27P)	1,200円 (B6 47枚)
内容	10個のおもちゃのアヒルが嵐に遭い、それぞれが海を漂流しながら、様々な経験をし、そのうちの1個が、最後に、本物のアヒルの親子に会うという内容の絵本である。 1から10までの数を学習することができる。	動物が、動物園に運ばれるという物語を通して、1～10の数の概念形成を図る内容である。	カードに書かれたアナログ時計の長針と短針の位置から、時刻を読み取るものである。 また、カードの裏には時刻の読み方が日本語・英語表記で示されている。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 おもちゃのアヒルが1個ずつ様々な経験をする場面は1場面1ページ、その他の場面は1場面見開き2ページで、ページのほとんどを絵が占め、ページの上に短い文が書かれた構成となっている。</p> <p>【表記・表現】 絵が、大きく、はっきりしており、児童・生徒が興味・関心をもちやすい。 文章は、全て平仮名・片仮名・アラビア数字で書かれている。 最後のページに、押すとアヒルの鳴き声をするボタンオルゴールが埋め込まれている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 装丁が丈夫で、しっかりとしている。 文字の大きさは、16ポイントである。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 見開き2ページで一つの動物が登場し、1両目、2両目とページをめくるとともに、個数が増えるように配列されている。</p> <p>【表記・表現】 画面が貼り絵を用いているため、独特の色彩と表現で、動物の表情が豊かである。 絵だけの表現なので見やすくなっている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質も良く、装丁もしっかりしている。 適当な大きさであり、扱いやすい。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 何時・何時半・何時15分・何時45分と難易度にそった47枚のカードが用意されている。 児童・生徒の発達の状況に合わせて、カード選択ができる。 全体の分量は47枚で適当である。</p> <p>【表記・表現】 長針は赤色、短針は青色で分かりやすい。 文字の大きさは100ポイントで、書体はゴシック体である。 カード裏の時刻の読み方を示す漢字には振り仮名が付いている。 デジタル表示と英語表記もある。 細かな「分」読みの際には文字盤の数字の横に分表記がある。 生活との関連を図るためのシートや自由に時刻を設定するための文字盤カードと長針、短針が用意されている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 カードは厚紙でできていて耐久性がある。 大きさはB6サイズで扱いやすい。</p>
その他	1から10までの数について学習することができる。 10個のおもちゃのアヒルが、1個ずつ別々に登場するために、集合数としての数を指導する上で配慮が必要である。 1個ずつ登場するアヒルが、全て同じように描かれており、前に出てきたアヒルとの区別が付きにくいいため、順序数としての数を指導する上で配慮が必要である。	洗練された絵と簡潔な文章で、集合数、順序数、数唱が取り上げられている。 動物が重なって描かれている部分や、動物の向きなどが様々であるため、具体物に対応させながら数える場合などは、配慮が必要である。	時刻の読みは生活との関連を付けることが大切であるので、単なるカードの読みに終始しないよう、工夫する必要があるが、時計の学習に活用できる。 カードを収納する箱は小さめでやや使いにくい面がある。



【算数・数学 発達段階:B】

種NO	算数・数学 2 2	算数・数学 2 3	算数・数学 2 4
発行	小学館	鈴木出版	童心社
書名	21世紀幼稚園百科⑥ かずあそび1・2・3	かぞえておぼえる かずのえほん	かずのほん 1 どっちがたくさん
著者	野田 一郎	島田 ゆか	遠山 啓 監修
定価 (判・P)	970円 (A 4変形 31P)	1,500円 (B 5変形 39P)	1,300円 (B 5変形 47P)
内容	1～10までの数について物を数えることを基本とし、1対1対応、大小、合成・分解、数え方、順序、位置関係などを取り上げている。	身近な具体物を数える活動を通して、1～100までの数について学習する内容の絵本である。	数の概念を形成していく一つの段階として、1対1対応を通じた、数量の比較を中心に扱っている。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 1～5までの数と、1～10までの数の、2部構成になっている。 また、具体物との対応で数えることを通し、理解を深めるように工夫されている。</p> <p>【表記・表現】 絵は、実物や模型の写真を多用し、実感が伴うよう配慮されている。 数字や片仮名には、仮名が振ってある。 各ページの下に指導のポイント、学習のねらい、小学1年生の学習との関係を示している。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 厚紙にコーティングをし、装丁がしっかりしている。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 1～20までは一つずつ数えながら、20からは10のまとまりを数えながら、100までの数を学習していく構成となっている。 巻頭や巻末に、数字の練習、100までの数のまとめ、助数詞・単位についての学習のページがある。</p> <p>【表記・表現】 身近な具体物を分かりやすい絵で表し、児童・生徒の興味・関心を引きやすい。 文章は、全て平仮名・片仮名・アラビア数字で書かれている。 文字の大きさは、20ポイントである。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。 装丁は、丈夫でしっかりとしている。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 小さい数の「1対1対応」から始め、集合作り、集合の大きさの比較と、次第に大きな数へと、無理なく範囲を広げている。</p> <p>【表記・表現】 見開き2ページで課題が設定され、めくったページに、解答に当たる絵が示されている。 文章も簡潔で分かりやすい。 巻末に指導者向けの解説が載っている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質・装丁ともしっかりしていて、耐久性に優れている。 大きさはB 5変形で扱いやすい。</p>
その他	数の概念形成を図る上で、基本的な考え方や、具体的な方法を示した教材である。 数えることに、重点が置かれており、実際の指導の際には、具体物や半具体物を用意するなどの、工夫が必要である。 「幼稚園百科」という題名の扱いには配慮を要する。	身近な具体物を数える活動を通して、1～100までの数について学習できる。 数える物のイラストに分かりにくい部分があり、実際に数える場合には、配慮が必要である。	大きく見やすい絵と、簡潔で分かりやすい文章で、1対1対応、弁別、仲間集めの学習を通して、集合の大きさを比べる学習ができる。 数の数え方、数詞などを扱う以前の指導に適切である。

【算数・数学 発達段階:B】

種NO	算数・数学 25	算数・数学 26	算数・数学 27
発行	童心社	同成社	戸田デザイン研究室
書名	かずのほん 2 0から10まで	ゆっくり学ぶ子のための 「さんすう」② (1対1対応、1～5の数、 5までのたし算)	1から100までのえほん
著者	田畑 精一 絵 遠山 啓 監修	江口 季好、村上 直樹 編	たむら たいへい
定価 (判・P)	1,300円 (B5 48P)	1,100円 (B5 72P)	1,600円 (B5変形 42P)
内容	1～10までの数について説明されている。 目や鼻等の身体の一部や動物など身近なもののイラストを見ながら、その絵と数字又はタイルを対応させ、集合概念の形成を図る内容の絵本である。	5までの数について「1対1対応」「具体物を数字に置き換える」「数の順序」「足し算」について、図、文字、記号等を用いて示している。	1～100までの数について、身近な物や動物の絵と数字を示し、集合数としての理解を図る内容である。
構成上の工夫	【全体の構成や各項目の配列】 1から10までの数と0を、①1～3②4、5③6～10、④0の4段階に分け、理解しやすいようにまとめている。 また、巻末に指導者向けの解説がある。 全体の分量も48ページで適当である。  【表記・表現】 タイルを使用し、数を量的に表すことにより、集合数の概念を分かりやすく説明している。 文字は、19ポイントで、数字と平仮名が使われている。 特にタイルに対応する数字は、100～240ポイントで大きくて見やすい。  【製本の仕方や耐久性等】 表紙は、丈夫で本文の紙質、装丁ともにしっかりしている。 B5変形で、児童・生徒が持ちやすく扱いやすい大きさである。	【全体の構成や各項目の配列】 具体物操作による「1対1対応」から始まり、半具体物操作へと移行していく構成である。 1ページに載せてある課題数も適切である。  【表記・表現】 絵は身近な物や動物、食べ物を取り上げ、一部はカラーである。 文字は、平仮名、片仮名、数字である。 各ページに「指導の展開」が載っている。  【製本の仕方や耐久性等】 紙質・装丁ともしっかりしている、耐久性に優れている。 大きさはB5で扱いやすい。	【全体の構成や各項目の配列】 コアラを中心とした物語に沿って、1～20までは一つずつ数字と絵が増え、20以上は10ずつ増え、100までの数が示されている。  【表記・表現】 絵は動物が中心となり、全部カラーである。 どの動物も表情豊かに描かれている。 文字は、平仮名、片仮名、数字である。  【製本の仕方や耐久性等】 紙質、装丁ともしっかりしている。
その他	集合数としての数や数量の概念形成に役立つ。 数字や絵が大きく、色の使い方もはっきりしている。	5までの数について、具体物から半具体物を経て、数字に置き換えるまでの過程が、丁寧に扱われていて、数の概念を具体物をイメージしながら、理解できるように配慮されている。 数の導入段階の学習に適している。	物語を楽しみながら、1～100までの数を学習できる。 ただし、20以上の数は、10ずつ増えていくので、指導時期や指導方法に、十分配慮する必要がある。

【算数・数学 発達段階:B】

種NO	算数・数学 28	算数・数学 29	算数・数学 30
発行	戸田デザイン研究室	ひかりのくに	福音館書店
書名	とけいのえほん	子どもの力を引き出す認識絵本 いくつかな	かがくのとも傑作集 かずのほん
著者	とだ こうしろう	嘉村 苑子、多田 ヒロシ	まつい のりこ 文・絵 遠山 啓 監修
定価 (判・P)	1,500円 (B5 52P)	1,200円 (B5 39P)	900円 (B5変形 24P)
内容	午前1時から夜の12時までの時刻と読み方が、1時間ごとに記されている。 最後の4ページで、分まで読む内容を扱っている。	身近な物や動物などを通して物の数え方、長い・短い、重い・軽い、高い・低い、右左などの算数の基礎的な概念が学習できる。	身近な動物が登場し、比較、対応をしながら1から10までの数の数え方について説明している内容の絵本である。
構成上の工夫	【全体の構成や各項目の配列】 見開きの2ページで1時刻が扱われ、左ページには時刻に合った風景が示されている。 24場面構成されている。  【表記・表現】 風景の絵は、その時刻の雰囲気分かりやすく表されている。 時計の時刻が色分けされていて、見やすいが、風景の絵は抽象的なものがある。  【製本の仕方や耐久性等】 装丁はしっかりとしており、大きさも適切で扱いやすい。	【全体の構成や各項目の配列】 見開き2ページに二つの要素が示されている。 数概念に関わる形や色など、25の要素で構成されている。  【表記・表現】 本文の文字の大きさは、12ポイントである。 平仮名表記で、数字には振り仮名が付いている。 全ページカラーである。  【製本の仕方や耐久性等】 紙質は厚く、コーティングされている。	【全体の構成や各項目の配列】 見開き2ページを1場面として、前半は、1対1の対応をしながら数の数え方や対象について説明している。 後半は、具体的に数字と家の窓の数と対応して説明している。 全体の分量は、24ページで適当である。  【表記・表現】 「…はいくつ？」などのような同じ形式の設問を繰り返して、学習を進めていく工夫がされている。 文字は、11ポイントで、窓の数に対応する数字は30ポイントとやや大きい。 また、文章は、平仮名と数字だけで書かれている。  【製本の仕方や耐久性等】 表紙は、丈夫で本文の紙質、装丁ともにしっかりしている。 B5変形で、児童・生徒が持ちやすく扱いやすい大きさである。
その他	風景の絵は抽象的なものがあり、児童・生徒によっては分かりにくい。 解説の文章がほとんどないので、自由に話かけをしながら進める学習には、適している。	二つの要素が2ページにわたって示されているため、何に注目させるかなど、提示するときに工夫が必要である。	1対1の対応をしながら基礎的な数の概念が学習できるようになっている。 絵、文字ともやや小さく、見にくい部分もあるので、指導の際には配慮が必要である。

【算数・数学 発達段階:B】

種NO	算数・数学 3 1	算数・数学 3 2	算数・数学 3 3
発行	偕成社	金の星社	講談社
書名	100かいだてのいえ	3びきのくま	かぞえてみよう
著者	いわい としお	いもと ようこ	安野 光雅
定価 (判・P)	1,200円 (A変形 31P)	1,300円 (A4変形 31P)	1,600円 (B12取 26P)
内容	100階建ての家を主人公が各階に住んでいる動物とのやり取りをしながら100までの数を学ぶことができるようになってる。	大小の概念を、熊の親子同士、熊と女の子とのやり取りなどを通して示している。お父さんが一番大きい食器、椅子、ベッド、お母さんは中くらい、子供は一番小さい物を使うことで、「大きい」と「小さい」を身近なものから理解することができる。	0から12までの数を対象物を数えることによって理解する内容になっている。複数の対象物のカテゴリ分けができ、物の属性も併せて理解できる。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 奥から手前にページを開き読み進める構成になっている。 縦見開き2ページで10階ずつ登る構成になっている。</p> <p>【表現・表記】 本文は丸ゴシックで、13ポイントである。 下から上に階を追うように文章が書かれている。 絵はイラスト調で分かりやすい。 色彩は淡い色合いであり、輪郭がはっきりして見やすい。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙の質は光沢がなく、紙質はやや厚い。 表紙は硬い紙であり、のりと同じで製本してある。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 見開き2ページが一場面の構成になっている。 親子の熊が言葉を繰り返し、リズムカルに物語が進む。</p> <p>【表現・表記】 本文は15ポイントだが、54ポイント、26ポイント、15ポイントと文字の大きさで声の大きさを表している場面がある。 全ページカラーである。 絵はかわいらしく親しみのある絵柄である。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 製本はのりと同じである。 表紙の紙は硬い紙であり、紙は厚みがあり十分な耐久性がある。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 1場面が見開き2ページで構成されている。 数字とイラストの季節が対応しており、季節の学習や時間の経緯とともに町が作り上がる様子を見ることができる。</p> <p>【表現・表記】 見開き2ページの右側に数字が書いてある以外は文字はない。 描いてある絵は洋風であるが、よく知っている物が多いため親しみやすい。 全ページカラーである。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 製本は、のりと同じである。 表紙の紙は硬く、紙質は厚いため十分な耐久性がある。</p>
その他	本を広げると、机の奥ゆきより本が長くなり、配慮が必要である。 71階から80階のページの数字は逆さに表記してあり配慮が必要である。 下から1文を読むと上方向に読み進めるので、慣れが必要である。	熊の親子だけではなく、女の子を基準にして椅子やベッドなどの物の大きさを比較することができるため、視覚的に理解することができる。	場面にある絵の全てが数える対象になっておらず、右ページにある数と一致しているわけではないため、配慮が必要である。 数える物が認識できると、発見する楽しみがある。

【算数・数学 発達段階:B】

種NO	算数・数学 34	算数・数学 35
発行	福音館書店	福音館書店
書名	とけいのほん①	とけいのほん②
著者	まつい のりこ	まつい のりこ
定価 (判・P)	900円 (B5変型 30P)	900円 (B5変型 30P)
内容	アナログ時計の長針と短針の主人公がどんぐりのぼうやに正時を、ひかりのぼうやに〇時30分の時間の読み方を教えている。	アナログ時計の長針と短針の主人公がおぼけのぼうやに、1時間は60分であることや長針が4や7にあるときの時間の読み方を教えている。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 見開き2ページで1場面が展開されている。 文字盤の作られ方や長針と短針の役割りなどを解説しながら物語が進行している。</p> <p>【表現・表記】 本文は11ポイントのゴシック体である。 パステル調の色彩である。 イラストがかわいらしく親しみやすい。 時計の文字盤に注目できるよう配色が工夫されている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 製本は糸とじである。 表紙の紙は硬く、紙質は厚いため十分な耐久性がある。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 見開き2ページで1場面が展開されている。 文字盤の作られ方や長針と短針の役割りなどを解説しながら物語が進行している。</p> <p>【表現・表記】 本文は12ポイントのゴシック体である。 パステル調の淡い色彩である。 イラストがかわいらしく親しみやすい。 時計の文字盤に注目できるよう配色が工夫されている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 製本は糸とじである。 表紙の紙は硬く、紙質は厚いため十分な耐久性がある。</p>
その他	最後に「とけいのほん②」について触れてあり、②と併せて学習すると〇時〇分までの時刻を学習することができる。	「とけいのほん①」の発展であり、計画的に学習することが必要である。

【算数・数学 発達段階:C】

種NO	算数・数学 36	算数・数学 37	算数・数学 38
発行	岩崎書店	岩崎書店	絵本館
書名	五味太郎のことばとかずの絵本 かずの絵本	五味太郎のことばとかずの絵本 すうじの絵本	五味太郎 かずのえほん1・2・3
著者	五味 太郎	五味 太郎	五味 太郎
定価 (判・P)	1,200円 (A4変形 32P)	1,200円 (A4変形 32P)	1,300円 (A4変形 47P)
内容	身近な生活の場面が描かれ仲間を分類し、25通りの数詞が示されている。 また、初歩的な数の合成・分解も扱っている。	数字が機能している身近な生活の場面が描かれている(時間、温度、重さ、電話番号、値段、住所、順番、ゼッケン、サイズ、計算など)。	10までの数の数え方、数詞の使い方、1対1対応、大小、順序、合成・分解を理解させる内容である。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 各場面が見開き2ページで構成され、複数のものが10までの数量で描かれている。 後半は、数の合成や10以上の数の数え方を扱っている。</p> <p>【表記・表現】 前半は、絵と文章の数が対応しているが、後半は、児童・生徒に数え方を考えさせる工夫が見られる。 平仮名で短い文章が付記されている。 場面ごとに関連する物を、3種類以上扱っている。 全体を通して、日常生活に起こり得る、ストーリー性をもたせた展開となっている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 表紙は厚く、コーティングされている。 紙質は丈夫で、しっかり製本されている。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 各場面が見開き2ページで構成され、家の中、身近な地域、公共の場所の順で、問題場面が広げられている。</p> <p>【表記・表現】 各場面での数字の使われ方が、平仮名の短い文で表されている。 絵は全てカラーである。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 装丁はしっかりしており、耐久性がある。 大きさも適切で、扱いやすい。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 はじめに、数詞を付けた10までの数量の数え方があり、1対1対応の大小比較、数の合成・分解、2桁の大小比較の順に構成されている。</p> <p>【表記・表現】 タッチの柔らかい、親しみやすい絵である。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質は良く、装丁もしっかりしている。 大きさは、コンパクトで扱いやすい。</p>
その他	事物の概念を、ある程度身に付けている児童・生徒を対象としている。 場面によっては、具体物を用意するなど、指導上の工夫が必要である。	身近な生活の場面での、数字の機能が描かれているので自分の生活と結び付けやすく数についての興味を広げることができる。	児童・生徒に興味をもたせる絵であるが、指導の際には指導内容の構成に十分配慮することが必要である。 数える対象が強調されず、不明確な箇所が見られる。

【算数・数学 発達段階:C】

種NO	☆ 算数・数学 39	算数・数学 40	算数・数学 41
発行	学研プラス	くもん出版	講談社
書名	さわって学べる算数図鑑	1分きざみで時計がよめる はとのクルックのとけいえほん	もしも日本人が みんな米つぶだったら
著者	朝倉 仁 監修	たちの けいこ	山口 タオ 文 津川 シンスケ 絵
定価 (判・P)	2,200円 (A4変形 16P)	1,400円 (A4 25P)	1,300円 (B5変形 39P)
内容	足し算や引き算、掛け算、分数、図形等について、視覚的に示した図や、実際に触って動かせる仕掛けを用いて、立体的に説明している。	親しみやすい動物を人間の生活に例えて、朝6時から夜8時までという生活時間の中で、生活の流れと時刻を対応させて学習できる絵本である。	御飯、米粒を数えたり、計量したりしながら、1億までの数を学習する内容の絵本である。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 各場面が見開き2ページの構成で、内容のまとまりごとに七つの項目に分かれている。 全てのページに仕掛けがあり、巻末には用語集と索引がある。</p> <p>【表記・表現】 文字の大きさは、見出しは54ポイント、本文は9ポイントである。 全ページカラーであり、形や問題ごとに色分けをしている。 漢字には全て振り仮名が振っており、図形の名称については、英語の表記を併記している。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質は非常に厚く、光沢がある。 表紙は厚く、各ページを貼り合わせたと同じ方をしているため、開きやすい。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 見開き2ページで構成している。 前半は〇時、後半は〇時〇分という時刻となり、時刻表示の仕方は話が進むにつれて難しくなっている。 表紙を含めて、全ての右ページが時計の大きさにくりぬいてあり、読み進めながら時計を操作して時刻の学習ができるようになっている。</p> <p>【表記・表現】 文字の大きさは18ポイントである。 平仮名と片仮名で表記されており、片仮名には振り仮名が付いている。 全ページカラーである。 実際に針を動かせる時計の模型が貼り付けられていて、どのページでも利用できるようになっている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 表紙は厚紙で、時計の模型もしっかりしていて、針も操作しやすい。 やや大きく重めである。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 米1000粒で20g、米1合で8000粒を基準に、茶碗1杯、2kg、1俵と段階を追って大きな数について学習を進める構成となっている。</p> <p>【表記・表現】 分かりやすい絵と、米の写真を使って、大きな数や量が理解しやすい。 本文の漢字の一部には、振り仮名が振られている。 文字の大きさは、11ポイントである。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。 装丁が丈夫で、しっかりとしている。</p>
その他	触って理解できるような仕掛けがあり、児童・生徒の興味・関心を引く工夫がされている。 仕掛け部分は厚みのある紙だが、強く動かすと破損する可能性があり、配慮が必要である。	時刻・時間としての学習が困難な場合には、一日の時の移り変わりを理解させる学習としても利用できる。	身近な米・御飯を用いて、1億までの大きな数について、体感的に学習することができる。 「合」「升」「斗」「俵」等、日本の伝統的な単位についても取り上げている。 日常生活で使用頻度が高い単位である「g」「カップ」の説明がなく、「kg」「合」との関係性を把握させる配慮が必要である。

【算数・数学 発達段階:C】

種NO	算数・数学 4 2	算数・数学 4 3	☆ 算数・数学 4 4
発行	ジュラ出版局	小学館	太郎次郎社エディタス
書名	プータンいまなんじ?	21世紀幼稚園百科 とけいとじかん	スーパータイトルのさんすう1 らくらく算数ブック1
著者	わだ よしおみ	栗岩 英雄 監修・指導	田中 かほる 著 榊 忠男、岡田 進 監修
定価 (判・P)	1,360円 (B5変形 22P)	970円 (A4変形 29P)	2,000円 (B5 114P)
内容	本に組み込まれた、模型の時計盤の操作により、一日の生活の流れに沿って、時刻の読み方・表し方が学習できるようになっている。	時計の種類、読み方、時刻と時間等について、時計の写真を用いて解説する内容となっている。	数の概念や表し方、2桁までの足し算と引き算について、物や数をタイトルに置き換えて、イラストを交えて説明している。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 子供の一日の生活の流れに沿って、話が展開しており、一日の時間の流れがつかみやすい。 最後に「〇時半」を扱っている。</p> <p>【表記・表現】 絵は親しみがもて、色彩も柔らかく表現されている。 文章は分かりやすいが、文字が小さい。 時計盤がページをくりぬいて組み込まれており、様々な場面に対応できる。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 装丁は厚紙でしっかりしており、耐久性に優れている。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 各ページに2～13個程度の時計の写真がある。 全てのページが見開きで一つのテーマ、内容を扱っている。</p> <p>【表記・表現】 ページごとの表題の文字の大きさは、44ポイント、時計の名称は13ポイント、説明文は10ポイントで丸ゴシック体で表記されている。 文字は平仮名で示してあり、数字、片仮名には、振り仮名が付いている。 カラー印刷である。 熊やネズミのキャラクターが時計の読み方を解説している。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質は光沢があり、十分な厚みがある。 表紙は硬い紙であり、製本はのりどとじてあり、十分な耐久性がある。 見開きにすると水平に開く。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 内容のまとめごとにより9章で構成しており、目次がある。 イラストや図が多く、色を塗りながら数の概念を理解させるページがある。 計算問題は、1ページ当たり最大で22問である。</p> <p>【表記・表現】 文字の大きさは、見出しは32ポイント、本文は16ポイントである。 2色刷りで、直接書き込めるようになっている。 内容の後半では片仮名や一年生で習う漢字(山、十など)を使っており、分かち書きをしている。 指導者向けの内容の手引きが別冊として付いている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質は厚みがある。 表紙はやや硬く、のりとじて製本してある。</p>
その他	生活との関連で時刻が学べるようになっていて、しかも児童・生徒が時計の操作をできるように工夫されている。 時刻と時間の区別などの扱いはなされていないので、指導上の工夫が必要である。	保護者向けに、学習の内容や目的が記載されている。 見開きページに25個以上の時計が示されているページもあり、注目をさせる際に配慮が必要である。	書き込む欄が小さい箇所があるため、配慮が必要である。 文字とイラストが重なっているページは、見えづらい。 練習問題の解答例は、インターネットでしか見られない。



【算数・数学 発達段階:C】

種NO	☆ 算数・数学 45	☆ 算数・数学 46	算数・数学 47
発行	太郎次郎社エディタス	太郎次郎社エディタス	東洋館出版社
書名	スーパータイルのさんすう 2 らくらく算数ブック 2	スーパータイルのさんすう 3 らくらく算数ブック 3	くらしに役立つ 数学
著者	岡田 進 著 榊 忠男、岡田 進 監修	石川 充夫、岡田 進 著 榊 忠男、岡田 進 監修	大南 英明
定価 (判・P)	2,000円 (B5 114P)	2,095円 (B5 130P)	1,300円 (B5 127P)
内容	4桁までの足し算と引き算、かけ算九九、水のかさ、長さについて、物や数をタイルに置き換えて、イラストを交えて説明している。	掛け算、割り算、小数、大きな数、長さ、重さ、時間について、数をタイルに置き換えたり、イラストを交えて説明したりしている。	基礎編として、数と計算、量と測定、図形と面積・容積、時刻・時間と速度などについて扱っている。 生活編として、自分の身の回りのこと、毎日の生活のこと、学校生活のこと、余暇のこと、暮らしのことについて扱っており、数学的な知識や技能等が学習できる。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 内容のまとめりごとに8章で構成しており、目次がある。 計算問題は、1ページ当たり12問前後が多く、最大で42問である。</p> <p>【表記・表現】 文字の大きさは、見出しは32ポイント、本文は13ポイントである。 2色刷りで、直接書き込めるようになっていて、 メートルやリットル等は筆記体の表記である。 小学校2年生配当程度の漢字が使われており、一部には振り仮名が振ってある。 指導者向けの内容の手引きが別冊として付いている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質は厚みがある。 表紙はやや硬く、のりとじで製本してある。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 内容のまとめりごとに9章で構成しており、目次がある。 計算問題は、1ページ当たり20問前後が多く、最大で44問である。</p> <p>【表記・表現】 文字の大きさは、見出しは32ポイント、本文は11ポイントである。 2色刷りで、直接書き込めるようになっていて、 メートルやリットル、グラム等は筆記体の表記である。 漢字の一部には、振り仮名が振ってある。 指導者向けの内容の手引きが別冊として付いている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質は厚みがある。 表紙はやや硬く、のりとじで製本してある。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 基礎編、生活編の2部構成になっている。</p> <p>【表記・表現】 文字の大きさは12ポイントである。 小学3年以上の漢字に振り仮名が付いている。 また、数学で使う新しい用語「正(せい)」「負(ふ)」「小数(しょうすう)」などにも振り仮名が付いている。 黒、青の2色刷りである。 問題と一緒にイラストも掲載され、視覚により、理解できるような工夫がある。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 表紙・本文ともに紙質は薄く、一般の教科書と同様の装丁である。</p>
その他	<p>計算問題においてはタイルを使用し、筆算のやり方については手順を追って丁寧に説明している。 かさや長さの問題においては、実験や具体的な活動が記載されているなど、体験的な学習が取り入れられている。 文字とイラストが重なっているページは、見えづらい。 練習問題の解答例は、インターネットでしか見られない。</p>	<p>問題数が多く、書きこむ欄が小さい箇所があるため、配慮が必要である。 コントラストが弱い部分や、文字とイラストが重なっている部分は見えづらい。 練習問題の解答例は、インターネットでしか見られない。</p>	<p>具体的な内容を扱っているので、実際に買い物などの体験活動と合わせて指導すると効果的である。</p>

【算数・数学 発達段階:C】

種NO	算数・数学 48	算数・数学 49	算数・数学 50
発行	童心社	同成社	同成社
書名	かずのほん③ 0から10までのたしざんひきざん	ゆっくり学ぶ子のための 「さんすう」③ (6～9までのたし算、 ひき算、位取り)	ゆっくり学ぶ子のための 「さんすう」④ (くり上がり、くり下がり、 2けたの数の計算)
著者	遠山 啓 監修	江口 季好、村上 直樹 編	江口 季好、村上 直樹 編
定価 (判・P)	1,300円 (B5変形 47P)	1,100円 (B5 80P)	1,100円 (B5 80P)
内容	答えが10までの足し算と引き算の意味を具体的な例を基に示し、式としての表し方を説明している。	6～2桁までの数、1桁の足し算・引き算、時計の読み方について、図・文字・記号を用いて示している。	繰り上がりのある足し算、繰り下がりのある引き算を中心に、2桁の足し算・引き算・単位について、図・文字・記号を用いて示している。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 「答えが5までの足し算・引き算」と、「答えが10までの足し算・引き算」に分かれている。 それぞれが具体物とタイルと式に対応させてある。</p> <p>【表記・表現】 具体的なイメージが必要な部分には、カラーで絵が載せてある。 また、色の変化で理解が深められるように、工夫されている。 直接鉛筆で書き込めるようになっている。 巻末に、指導者向けの解説が載っている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質・装丁ともしっかりしていて、耐久性がある。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 数字を書く、色を塗る等の練習問題もある。 時計の読み方は、長針は全て「12」を指しているため、1時間単位の読み方に限定される。</p> <p>【表記・表現】 絵は身近な物や動物、食べ物を取り上げ、一部はカラーである。 文字は、平仮名、片仮名、数字である。 ほとんどのページに「指導の展開」が載っている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質・装丁ともしっかりしていて、耐久性に優れている。 大きさはB5で扱いやすい。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 例題、練習問題も分量が多く載っている。 「さんすうの窓」も、興味のあるコーナーになっている。</p> <p>【表記・表現】 絵は身近な物や動物を取り上げ、一部はカラーである。 文字は、平仮名、片仮名、数字である。 ほとんどのページに、「指導の展開」が載っている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質・装丁ともしっかりしていて耐久性に優れている。 大きさはB5で扱いやすい。</p>
その他	「答えが5までの足し算・引き算」が確実に身に付いてから、次の段階に進むことが大切である。 また、繰り下がり、繰り上がりの計算は扱ってはいない。 足し算・引き算の導入の段階の指導に適している。	6～10までの数を、5のまとまりを基にした考え方で説明している。 練習問題も適当な分量で載っており、本に書き込めるようになっている。 足し算・引き算の導入の段階の指導に適している。	繰り上がり、繰り下がりの計算について、常にタイルを操作し、確かめた上で筆算を行うなど、理解を確実にしようと、丁寧に説明している。 「さんすうの窓」がワンポイントアドバイスになっている。

【算数・数学 発達段階:C】

種NO	算数・数学 5 1	算数・数学 5 2	算数・数学 5 3
発行	同成社	ひさかたチャイルド	福音館書店
書名	ゆっくり学ぶ子のための 「さんすう」⑤ (3けたの数の計算、 かけ算、わり算)	わらべきみかのスキンシップ絵本5 かずのえほん	安野光雅の絵本 はじめてであうすうがくの絵本1
著者	江口 季好、村上 直樹 編	わらべ きみか	安野 光雅
定価 (判・P)	1,100円 (B 5 80P)	1,600円 (A 4変形 84P)	1,600円 (B 5変形 104P)
内容	3桁の数と、その足し算・引き算、お金の計算、掛け算・割り算の入門、単位の換算について、図・文字・記号を用いて示している。	前半は1から20までの数について数の概念理解を扱っている。その後、30、40、50、100、0を扱い、後半に長さ(高さ)の比較、順序数、集合などを扱っている絵本である。	「仲間はずれさがし」「物の合成」「数の順序」「数を使った位置の表し方」「量の比較」などを、絵と文字で示している。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】</p> <p>各単元は、タイル操作、筆算、文章題の構成になっている。 「ことばをゆたかに」のコーナーも参考になる。</p> <p>【表記・表現】</p> <p>絵は身近な生活場面を取り上げ、一部はカラーである。 文字は、漢字、平仮名、片仮名、数字である。 教師にとっては「指導の展開」が参考になり、使いやすい。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】</p> <p>紙質・装丁ともしっかりしていて耐久性に優れている。 大きさはB 5で扱いやすい。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】</p> <p>見開きの左ページに、数字、その読み方、その数を示すドットが表され、右ページに、その数に当たる身近な動物や物が描かれている。 絵や数字が大きく示されているので、全体の分量は84ページで適当である。</p> <p>【表記・表現】</p> <p>数字は320ポイントの太丸ゴシック体で印刷されており、指でなぞることができる。 絵は鮮やかで形もはっきりしている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】</p> <p>表紙の紙質は堅く、装丁はしっかりしている。 ページの紙質も丈夫である。 大きさはA 4変形で扱いやすい。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】</p> <p>集合の条件探し、性質や図形の合成(分解)、順序や位置の表し方、量の比較の四つの内容で構成されており、それぞれほぼ同量である。</p> <p>【表記・表現】</p> <p>豊富な絵で、見て楽しめるように配慮されている。 全ページカラーで、情報量が多い。 文字は、平仮名、片仮名、数字である。 巻末に指導者向けの解説があり、指導する上での参考となる。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】</p> <p>紙質・装丁ともしっかりしている。</p>
その他	3桁の数とその足し算・引き算、お金の計算、掛け算・割り算の入門、単位の換算について、丁寧に説明している。 「さんすうの窓」や「ことばをゆたかに」のコーナーも活用できる。 量と測定・図形領域は扱っていないので、指導に当たっては、補完する必要がある。	数字と量を対応させる学習を、児童・生徒が興味をもって進められるように工夫されている。 10～20までの数と30以上の数については、10の固まりが示され、1ページの絵が大きいために、全体量がかみにくいのが、順序数、集合などが、様々な学習の活用ができる。 扱いの説明書は、指導者にとって参考になる。	算数の基礎的な内容を、子供が興味を示しそうな豊富な絵と、短い文で説明している。 「分類」「合成」「数の順序」「量」などの導入の段階として適しているが、かなり高度な内容も含まれているので、十分な教材研究が必要である。

【算数・数学 発達段階:C】

種NO	算数・数学 5 4	算数・数学 5 5	算数・数学 5 6
発行	福音館書店	福音館書店	民衆社
書名	安野光雅の絵本 はじめてであうすうがくの絵本2	安野光雅の絵本 はじめてであうすうがくの絵本3	さんすうだいすき あそぶ・つくる・しらべる 小学校2年
著者	安野 光雅	安野 光雅	森川 幾太郎 他
定価 (判・P)	1,600円 (B 5 変形 103 P)	1,600円 (B 5 変形 95 P)	1,800円 (B 5 112 P)
内容	「2つのものの関係」「比較」「集合」「数の概念」「単位」について、様々なイラストやスケッチがあり、文章で説明したり、問い掛けしたりする内容の絵本である。	図形を縦横違う比率で伸縮させる、折り紙を折る、迷路を抜けるなどの活動を通して、位置関係、空間関係、対象、形の変形など、位相数学(トポロジー)の基礎的な内容が学習できる絵本である。	小学2年で学習する加法や減法、乗法概念と測定法が網羅され、数唱や計算を通して学習する内容となっている。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 見開き2ページを1場面として、紙面のほとんどを絵が占め、説明文や問いかけが、添えられている。五つの内容を8から11の場面で構成している。場面の文章の末尾は問いかけの形式になっている。また、巻末に指導者用の解説がある。全体の分量は103ページでやや多い。</p> <p>【表記・表現】 文字は13ポイントで書かれ、数字には、平仮名で振り仮名が振られている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 表紙は、丈夫で本文の紙質、装丁ともにしっかりしている。B 5 変形で、児童・生徒が持ちやすく扱いやすい大きさである。装丁もしっかりして扱いやすい。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 「まほうのくすり(縦横違う比での図形の伸縮)」「きれいなさんかく(図形の構成)」「まよいみち(迷路・一筆書き)」「ひだりとみぎ(対称な図形)」の4部から構成されている。</p> <p>【表記・表現】 本文は、全て平仮名の文節分ち書きで書かれている。絵が大きく、はっきりとしている。巻末に、この本のねらいや解説がまとめられている。本文の文字の大きさは12ポイントである。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。装丁は、丈夫でしっかりとしている。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 小学2年の内容が9章に分けて残らず押さえられている。5章の乗法については20ページが配分され、学習の難易度に応じて配列されている。</p> <p>【表記・表現】 買い物やお祭り等の身の回りにあることがイラストで描かれていて親しみやすい。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質、装丁ともにしっかりしていて、答えを書き込んだり図形を描いたりする活動にも十分耐えられる。</p>
その他	身近な数量や形の違い、初歩的な数量の処理や量と測定等を学習するときの導入に適している。視覚的に見づらい配色のページ(34ページ及び35ページ)については指導上の配慮が必要な場合がある。	身近な活動を通して、数学に興味をもたせる工夫がされている。位相数学(トポロジー)の基礎的な内容を、平易な文章で説明している。内容として高等学校で扱う高度なものも含まれており、使用に当たっては、配慮が必要である。	設問に答える、教える等の課題に捉われ過ぎると、教科用図書としては使いにくい面がある。使用に際しては、児童・生徒の学習のペースを大切に、体験的な活動を取り入れるなど工夫が必要である。題名に「2年」とあるため、高学年の児童や生徒が使用する場合には、配慮が必要である。

【算数・数学 発達段階:C】

種NO	算数・数学 57	算数・数学 58	算数・数学 59
発行	民衆社	むぎ書房	むぎ書房
書名	さんすうだいすき あそぶ・つくる・しらべる 小学校3年	わかるさんすう 1	わかるさんすう 2
著者	森川 幾太郎	遠山 啓 監修	遠山 啓 監修
定価 (判・P)	1,800円 (B5 125P)	800円 (B5 92P)	900円 (B5 123P)
内容	小学3年で学習する3桁の数の足し算・引き算、掛け算（導入から3桁×2桁）、割り算（導入から3桁÷1桁）、分数、円、二等辺三角形、単位（cm、m、km、g、kg、l）、小数等について、身近な活動を通して学習できる内容である。	数量の表す意味（集合、大きさ、1対1対応）から、繰り上がり、繰り下がりのある足し算、引き算まで幅広く扱っている。	小学校学習指導要領「算数」の2年から3年に示された内容のうち、3桁・4桁の数とその足し算・引き算、かさ、長さ、掛け算九九等について、系統的に学習できる内容である。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 内容のまとめごと、九つの章と付録から構成され、それぞれの章は、更に3～6の節に分けられている。 一つ一つの問題を、4人の子供が大人とのやりとりの中で解法を考え、正解を導き出していく構成となっている。</p> <p>【表記・表現】 本文には、小学3年配当程度の漢字が使用されている。 一部の漢字には、振り仮名が振られている。 イラストが多く、問題の解法が分かりやすく示されている。 全ページモノクロである。 文字の大きさは、14ポイントである。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 数と計算の領域のみを取り扱い、量と測定・図形領域は扱っていない。 タイルを使った説明、筆算重視の取扱いに特徴がある。</p> <p>【表記・表現】 全ページ単色で、文字が全体的に小さい。 タイルを中心とした図で説明している。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 紙質・装丁とも耐久性はやや弱い。 大きさはB5で扱いやすい。</p>	<p>【全体の構成や各項目の配列】 内容のまとめごと、13章から構成されている。 それぞれの章は、いくつかの例題と練習問題、まとめの問題から構成されている。</p> <p>【表記・表現】 本文には、小学2年配当程度の漢字が使用されている。 一部の漢字には、振り仮名が振られている。 全ページモノクロである。 イラストは、例題等の解法の説明に必要な最小限のものに限られている。 本文の文字の大きさは、12ポイントである。 指導者用の解説書が別冊で添付されている。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 児童・生徒が持ち運びやすい大きさである。</p>
その他	一つの問題に対して、複数の解法を示している。 一部の解法は、検定済教科書等に示されていないものであるため、配慮が必要である。 題名に「3年」とあるため、高学年の児童や生徒が使用する場合には、配慮が必要である。	タイルを用いて、系統的に概念形成を図っているので、計算のやり方を理解させるには適しているが、児童・生徒の興味・関心への配慮が不十分である。 また、筆算の導入時期については検討を要する。 量と測定・図形領域は扱っていないので、指導に当たっては、補完する必要がある。	「数と計算」の領域の内容では、全ての章を通して、タイルを用いて系統立てた説明をしている。 練習問題、まとめの問題の量が多い。 「指導ノート」に、本書編集の意図や本書の活用の仕方がまとめられている。

【算数・数学 発達段階:C】

種NO	算数・数学 60
発行	小学館
書名	楽しく遊ぶ学ぶ かず・かたちの図鑑
著者	黒澤 俊二 監修
定価 (判・P)	2,800円 (A B 176 P)
内容	順序数、集合数、記数法、数の合成分解、割合などの数の概念、円や三角などの基本的な図形、大きさ、長さ、時間、重さなどを、豊富な事例・イラストなどを通して学ぶことができる。
構成上の工夫	<p>【全体の構成や各項目の配列】 1項目が見開き2ページで構成されている。 具体物の操作を伴うとより効果的に学習できる内容が多い。 目次と索引がある。</p> <p>【表現・表記】 見出しは72、48、24ポイント、本文は24、12ポイントのゴシック体が用いられている。 全ページカラーである。 写真は色がきれいで、イラストは親しみやすい絵柄である。</p> <p>【製本の仕方や耐久性等】 大型本で重い本である。 表紙の紙は硬く、紙質は厚い。 製本は糸とじであるため、十分な耐久性がある。</p>
その他	<p>大型で重い本のため、低学年の児童は扱いにくい。 本書に書かれている教材や教具を実際に準備して指導することで、体験を通してより理解を深めることができる。</p>